



# 平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ロータリーは  
機会の扉を開く

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2021年 5月20日 第 3311 回 週報第 3311 号

本日 5月20日	会員数 61名	対象者 60名	出席者 41(41)名	出席率 68.33%			
前々回 5月 6日	会員数 61名	対象者 60名	出席者 45(45)名	出席率 75.00%	MUP 1名	計 46名	修正率 76.67%

## 本日の卓話者ご紹介

### 平塚ロータリークラブ 長期計画委員会 委員長 升水一義



## 卓話

### 2020～21年度 クラブ協議会 「元気で楽しい平塚ロータリークラブを目指して」

### 平塚ロータリークラブビジョン声明 行動目標と具体的優先事項

### 平塚ロータリークラブ 長期計画委員会 委員長 升水一義

クラブ協議会はクラブのプログラムと活動、もしくは会員情報について協議するために開かれる会員全員の会合であります。今年度、長期計画委員会で作成し、理事会で承認を受けた「平塚ロータリークラブビジョン声明」及び「行動目標と具体的優先事項」をこの協議会において会員全員で共有し、元気で楽しい平塚ロータリークラブを目指したいと思っております。

今年度、長期計画委員会は RI の推奨する戦略計画を取り入れ、「新しい行動計画」を盛り込んだ戦略計画立案ガイドに沿って、平塚 RC の「望ましい将来像」実現に向けて、ビジョンの策定を行いました。

毎年会長が交代するロータリークラブでは、運営が活性化される反面、長期的計画に沿った活動が難しい側面がありました。

今、世界を見るとすさまじいスピードと激しい変化の中にいます。その世界情勢の変化と共に、環境問題や人口増加など、人類の生存に係る切実な問題がますます現実味をもって我々の生活に影響を与えています。そこでロータリーに対する期待とニーズの高まりにこたえるために、長期ビジョンと継続性が必要になり、長期的な視野に立った戦略計画がクラブを活性化させ、地域の評価と自己の研鑽に繋がり「価値ある組織」として認識されるであります。

平塚 RC 長期（戦略）計画を立案するについて「戦略計画立案ガイド」に沿って委員会活動を行いました。杉山会長年度に会員全員対象に行った「会員満足度調査」の更なる分析即ち「環境変化に敏感な若い世代の意見、提案を取り入れて、ベテラン会員が持つ組織運営能力を活かした新たな組織運営」ここに平塚 RC を更なる発展に導くカギがあります。つまり若手とベテラン会員の相乗効果発揮による組織の活性化であります。

清水裕会長年度では、戦略計画立案プロセスに沿った第1段階である、現状の分析として、平塚 RC の長所と短所、特徴、地域社会にある機会と課題の特定について、委員全員で意見を出し合い徹底討論を行い、その意見を基に中小企業診断士今瀬先生のご指導で、経営戦略を立てる際に使用する SWOT 分析を行いました。

本年度に入り、限られた会議の中で、平塚 RC の SWOT 分析をもとにクラブの特徴を委員会で出し合い戦略計画立案プロセスの第2段階として、「どのようなクラブになりたいか」を目指すビジョン声明を策定いたしました。ビジョン声明とは、未来に実現したいことを定義し、クラブの理想像を目指すための方向性を定めるものであります。

## 平塚ロータリークラブビジョン声明

「私たち平塚ロータリークラブは、良き伝統を堅持しつつ、変革と進化に挑戦し、地域社会や国際社会に対し持続可能な奉仕活動を行うことで、会員自身の資質の向上と、先進的なクラブを目指します」

そして戦略計画立案プロセスの第3段階として、計画の作成「どのようにビジョンを実現できるか」のための

具体的（戦略的）優先事項の策定とそのための行動目標を策定しました。

### 具体的優先事項（抜粋）

#### 1. 奉仕活動

①地域社会との関わり合いを積極的に高める

#### 2. 親睦活動

①会員が充実したロータリー活動を楽しむために、楽しい例会や活発な委員会活動を通じて、異業種交流や家庭間交流を活かし、会員のネットワークを広げる。

#### 3. 研修活動

①ロータリー理念やロータリー情報を全会員で共有する

#### 4. 組織強化

①クラブを活性化するために、組織を効果的に運営し、機能を高めて行く

### クラブ SWOT 分析による平塚 RC の行動目標

1. 平塚 RC として、地域への貢献を積極的に行い、地域における存在感を強調する
2. 会員層を活かし、異業種交流の機会をもってネットワークを広げる
3. 年齢層を活かした人間的交流を深化させ、親睦活動を発展させる
4. 会員間でロータリー理念の理解を深め、情報を共有し、ロータリー活動の参加意識を高める（向上させる）
5. 継続と新たな奉仕活動（事業）のバランスを常に考え、会員の理解のもと全員参加の奉仕活動を行う
6. 会員構成についてバランスよく構成が出来るように、未充填業種をクラブ全体で共有した仕組みづくりを構築する

戦略計画立案プロセス第 4 段階として、進捗の確認・目標への進み具合はどうか、長期計画委員会として年次目標への進捗を確認し、必要に応じて行動計画を修正を加え 見直しと調整を行う。これらは次年度長期計画委員会で行っていただきたい。

### まとめとして

1. クラブのリーダーが、クラブの現状を真摯に把握し、分析する
2. クラブ全員で元気で楽しいクラブの将来像を描く
3. クラブ満足度調査を定期的の実施し、事業計画に反映させる
4. 年度を超えて継続的に改革に取り組むシステムづくり

### 長期計画委員会の 3 年間の総括として

1. クラブの現状の問題点、課題、危機感、ビジョンを共有することで会員の一体感が高まる
2. ロータリーの理念や RI の活動、プログラムに対する理解が深まれば、会員のロータリーへの参加意識が高まる
3. 例会、委員会活動、奉仕活動に主体的に参加すれば、会員の満足度が高まる

4. 一人ひとりの会員の満足度を高めて行けば、クラブ全体の活力が高まり、元気で楽しいクラブになる

会員皆さんに配布しました、平塚ロータリークラブビジョン声明・行動目標と具体的優先事項と平塚ロータリークラブ SWOT 分析表の報告書を再度お読みください。

ご清聴ありがとうございました。



### 会長報告

先日、平塚湘南ロータリークラブの 30 周年式典がありました。久保田ガバナーや第 8 グループの会長と共に出席させていただき、私は「自然に続けていくことの大切さ」に気づかされました。

平塚湘南ロータリークラブは創立当初から続けている奉仕活動 2 つあります。1 つは盲学校など養護学校に対する支援活動、もう一つはフィリピンのシキホール島に対する支援活動です。

盲学校に対する支援活動では、JR 平塚駅で、点字ブックへの理解を深めてもらうためのチラシ配布などをされているとのことでした。フィリピンのシキホール島に対する支援活動は、水道を施設する事業の支援や現地の子供たちに中古の鍵盤ハーモニカを寄贈されたりしているとのことでした。式典ではこうした活動内容を振り返るスライドが映し出されるのですが、そこに映っている会員の皆さんがにこやかで楽しそうにしているのがとても印象的でした。

さて、続けるといえば、私にもひとつ長く続けていることがあります。それは、ピアノです。叔母がピアノの先生だったこともあり、5 歳からピアノを弾き始めました。今だったら、えこひいきだと批判されてしまそうですが、小学校の時には自分が作曲した曲を編曲してクラスメイトに演奏してもらったこともあります。

大人になってからは仕事が忙しくなり、また他の趣味に時間を割くようにもなりましたが、それでも時間があ

る時にはピアノを弾くというのが私の中では当たり前になっています。これが習慣になっているかと聞かれればよくわかりません。なぜなら、習慣という、無理して続けなければならないというイメージがあるからです。でも間違いなく言えるのは、私にとってのピアノは、あとと安心するもの、そしてなくなったら心にぼっかり穴が開くものです。

私たち平塚ロータリークラブにも素晴らしい活動がたくさんあります。長く続けているものもあれば、WEB例会のように始めたばかりのものもあります。そうした活動を無理せず、自然に続けていく。むしろ続けることが安心や安らぎにつながる。さらにそれが世のため人のためになるなら、これ以上素晴らしいことはないのではないでしょうか。



第7回米山功労者の表彰状を  
会長より授与された升水一義会員

### 幹事報告

#### ◎ロータリー米山記念奨学会より第44回米山功労クラブの感謝状を頂きました。

「米山功労クラブ」感謝状はクラブ扱いの特別寄付金累計額が100万円を超える毎に表彰されます。今回で創立以降44回目となります。皆様のご協力に感謝いたします。

#### ◎5月23日(日)13:00より平塚ラスカホールにて「米山奨学生と同窓生の集い」が開催されます。

江藤カウンセラーが出席されます。

#### ◎次週例会の会員健康診断は11時50分より「なでしこの間」で行います。

受診予定の会員は、当日は朝食を召し上げらず、検査キットは忘れずに持って来て下さい。まだ検査キットを受け取っていない会員は例会後に受付にて受け取って下さい。

#### ◎6月3日(木)に下期情報集會報告会が開催されます。

今回のテーマは「コロナに負けるな！コロナ禍でも会員拡大・出席率の向上を図るには」です。開催日時、場所、方法について決まりましたら、グループ幹事は事務局までご連絡下さい。対面でお食事を

される場合はクラブより一人3,000円の補助をお渡し致します。

#### ◎「日本のロータリー 100周年を祝う会 記念式典・祝賀会」が、新型コロナウイルスが収束の気配が無い状況を鑑み、無観客で5月25日(火)午後13時より開催となりました。

その式典の様様をYouTubeで配信いたしますので、本日は皆様に配布いたしましたご案内にURLと式次第が記載されておりますので、ぜひご覧ください。

#### ◎先日メールでご案内いたしましたが、台北バーチャル国際大会のプログラムが届いております。

ご興味のある方は登録後にご覧ください。

### 委員会報告

#### ◎雑誌委員会 委員長 青山紀美代

月初に「ロータリーの友」をご紹介しますが、今回、皆様より原稿を募集しております。タイトルは「私の宝物」です。皆様のペット、コレクションされている物、思い出の品物、ご家族などでも良いそうです。写真もあればお願い致します。投稿されても必ずしも掲載されるとは限りませんが、是非皆様のご投稿をお願い致します。

### 今週のお祝い

誕生日祝い・・・木村義広会員、今村佳広会員  
結婚祝い・・・無し

### メイクアップ (MUP)

1名

常盤卓嗣会員

### 本日のスマイル

13名

### ゲスト

0名

### ビジター

0名

### 卓話・行事予定

5月27日(木) 会員健康診断  
6月3日(木) 下期情報集會報告会  
6月10日(木) 会長卓話  
6月17日(木) 新会員歓迎例会

### 市内例会変更

現在ございません



1 SWOT分析

**強み**

1 地域での信頼度が高い

- ・地域各方面のリーダーがメンバーに多く存在
- ・長期継続事業が多い
- ・独自で実績のある事業を持っている
- ・地域、他のクラブからの評価、信頼が高い
- ・歴史と伝統による他のクラブからの信頼
- ・長期に渡る奉仕活動で地域に根差している

2 会員力の結集

- ・会員層（年齢・企業等）が厚く情報交換、意見交換が活発
- ・会員数が多く異業種交流の機会が持て、ネットワークが広がり、幅広い委員会活動が可能
- ・在籍年数の長い会員から有意義な話が聞ける
- ・クラブ内交流ができていて仲間意識があり職種、年齢、立場に関係なく付き合える
- ・組織内の役割を果たすことで社会への責任感も大きくなる

3 広範囲な年齢層と若手メンバーの活気

- ・年齢構成が広範囲
- ・若いメンバーが多く活気がある

4 企業会員（転勤者）の加入による新しい風

- ・企業会員の受け入れと企業会員の存在による新鮮な風の変化

5 堅固な組織基盤

- ・クラブとしての基金を持ち基盤が安定

**弱み**

1 会員の参加意識の低さと組織の理解力不足

- ・若年層会員の参加意識の低さとロータリーへの理解不足
- ・例会出席率が低く、長期休会会員の存在がある
- ・奉仕活動への参加が少ない
- ・仲間意識を全員が感じることができていない
- ・ゴルフ、イベントには参加するが例会には出ない会員の存在
- ・各種継続事業への参加率低下

2 情報の共有不足

- ・会員のロータリー情報の理解が低い
- ・共通の集まり（ゴルフ等）が全体の親睦を促進
- ・若年会員と高齢会員間の壁によるコミュニケーション不足
- ・女性会員、医師が少なく職種の偏りがある
- ・情報の共有化不足
- ・会員数が多いため会議が少なくなる人もいる

3 会員サポート体制が脆弱

- ・新会員や長期欠席者へのサポート不足
- ・会員の企業を活かす事業が少ない

4 国際的視点での活動不足

- ・国際奉仕関係事業が低調
- ・国際的視野が狭い

5 その他

- ・会員の職業分類の種が狭く偏りがある
- ・財源、米山の理解、協力が低い
- ・地区への参加が少ない
- ・第8グループをけん引するクラブとしてのアピール力不足
- ・マンネリ化している部分がある
- ・活動がうまくできていない委員会がある

**機会**

1 イベントを事業機会として取り込む

- ・来訪者多数のイベントがある（七夕、団扇祭りなど）
- ・多数ある地域イベント

2 新たな事業機会を取り込む

3 立地条件に恵まれた平塚

- ・海、山、川があり土地が平坦で生活しやすい
- ・気象が温暖、暑も多く天災等にあまり遭わない
- ・大都市に近くアクセスが良い
- ・道路が広く、公園やスポーツ施設が整備されている

4 産業、職種の分析し新たな事業機会を探索

- ・地域の産業、職種を分析する
- ・年齢別の産業、職種の見方の確認

5 国際貢献の充実

- ・米山留学生が本国からの労働者の受け入れになる

**脅威**

- ・相対的な存在感の低下
- ・駅周辺を含め経済の低下

2 解決すべき課題

解決すべき課題としては主に以下の様な内容の課題が提示されました。

- |                      |                     |                       |                |
|----------------------|---------------------|-----------------------|----------------|
| 1) 地域内各種団体との関係構築     | 4) 国際貢献事業の再構築       | 7) 「湘南」を謳う独自性あるものの創造  | 10) 青少年育成事業の充実 |
| 2) 中高年向け事業の充実        | 5) アピール力、情報発信力の強化   | 8) 平塚を象徴する「産業の充実」     |                |
| 3) 地域の高校、大学との共同事業の実施 | 6) 時代に合った文化、教育施設の充実 | 9) 商業活動、企業活動に接する機会の増加 |                |

